

ロヒンギャ 難民危機発生から1年

未来が危ぶまれる50万人の子どもたち 「教育への投資急務」ユニセフ最新報告書



【2018年8月23日 コックスバザール（バングラデシュ）/ニューヨーク 発】

バングラデシュ南部に暮らす50万人以上のロヒンギャ難民の子どもたちは、正規の教育を受ける機会を奪われており、絶望と不満を募らせることを防ぐためには、国際社会の努力が急務であると、本日ユニセフ（国連児童基金）は発表しました。ミャンマーでの激しい暴力を逃れて、ロヒンギャの人々が大量にバングラデシュに流入し始めてから1年、それに合わせて発表された報告書「危ぶまれる未来：ロヒンギャの子ども世代に希望を築く（原題：Future in the Balance: Building Hope for a Generation of Rohingya Children）」の中でユニセフは、コックスバザール地区の過密した粗末な難民キャンプに暮らす子どもたちが、学ぶ機会もほとんどなく、ふるさどにいつ戻れるかもわからない中、暗い未来に直面していると警鐘を鳴らしています。「私たちが今、教育に投資しなければ、『失われた世代』となったロヒンギャの子どもたちを見ることになるでしょう。子どもたちは彼らが置かれた状況に対処するスキルを持たず、ミャンマーに戻れたときに社会に貢献することもできなくなります」とユニセフ・バングラデシュ事務所代表エドゥアルド・ベイグベデルは述べました。

ユニセフは危機が発生した時から、国内・国際支援機関で構成するグループの一員としてバングラデシュ南部で活動しています。ユニセフは2018年のロヒンギャ難民の教育支援のために2,820万米ドルを必要としていますが、これまでに獲得できたのは、その50%を僅かに超える額に止まっています。

▲ロヒンギャ難民のラジマさん(右・10歳)に勉強を教えるバングラデシュ人のタスミンさん(左・10歳)。(2018年8月5日撮影)

ロヒンギャ難民 緊急募金

《郵便局（ゆうちょ銀行）振替口座》
振替口座：00190-5-31000

《口座名義》

公益財団法人 日本ユニセフ協会

- ◆通信欄に「ロヒンギャ」「K1-030」と明記をお願いします。
- ◆窓口での振り込みの場合は、送金手数料免除。



▲「危ぶまれる未来：ロヒンギャの子ども世代に希望を築く（原題：Future in the Balance Building Hope for a Generation of Rohingya Children）」

現在、受付中の緊急募金（ネパール大地震緊急募金は終了しました）



ロヒンギャ難民 緊急募金

命がけでキャンプに辿り着いたロヒンギャの子どもたち。劣悪な環境におかれた70万人以上の幼い命に今すぐ支援が必要です



シリア 緊急募金

紛争開始から7年が経過し、8年目を迎えるシリア危機。この危機の影響で800万人以上の子どもたちが人道支援を必要としています。



自然災害 緊急募金

地震や津波、洪水、台風やサイクロン、干ばつなどの自然災害で被災した人のために、世界各地で緊急・復興支援活動を行っています。



アフリカ干ばつ 緊急募金

アフリカでは今、干ばつや紛争を背景とする大規模な食料危機が発生し、何百万人もの子どもたちが、栄養不良や感染症などで命の危険にさらされています。



人道危機 緊急募金

いかなる緊急下においても、緊急支援物資の提供、心のケア、教育の機会の提供などを通じてすべての子どもが命と権利を守ります。

岩手県ユニセフ協会活動報告

ユニセフシアター

ライオン 25年目のただいま

7月29日(日)、岩手教育会館多目的ホールで開催された上映会にユニセフ賛助会員・支援者250名が参加しました。

5歳で迷子となり家族と生き別れ、その後養子となってオーストラリアで育ったサルー。5歳の身に迫る人身売買や飢えといった危険。映画は、Google Earth*を駆使して25年ぶりにインドへ里帰りを果たした実話をもとにしています。 ※衛星写真で世界中を見て回れる3D地図ソフト

世界に住む人たちが一つになって生きていくことの大切さと、子どもたちの幸せを願う感動の映画に涙しましたなど感想が寄せられました。

会場ロビーでは、ユニセフパネル展示、支援グッズの展示し、入場者にボランティアスタッフからのストラップのプレゼントがありました。

会場で寄せられたユニセフ募金78,279円。



©2016 Long Way Home Holdings Pty Ltd and Screen Australia



私は、終戦の時は4歳でした。農村地域なので食べるものはまあまあありましたが、小学校に入って給食などや農家でもバターや粉ミルクの支給がありました。後になってユニセフからの支給と知り、今度は私たち大人が世界の子どもたちにお返しをしたいと思います。ささやかな事しかできませんが大きな愛を届けたい。(70代 女)

現在でも8万人の子どもが行方不明なんて、本当にかわいそうすぎます。色々な人生の歩みかたはありますが、子どもを大切にしない世の中なんて考えられません。けれどもこれが事実であることに、どこにこの気持ちを向けたらいいのかわかりません。世界が平和であることを祈り、何か力になれる事があったならと痛切に感じました。子どもたちの幸せを願っています。(40代 女)

参加者の感想より

新しい教育会館にワクワクしながら来ました。とても素敵です。来てよかったです。びっくりするサルーの物語。実話だったことにまたまたびっくり!! (60代 女)

新しい教育会館を訪れ感慨一入です。若い教師時代、教育会館建設のため毎月積み立てしたことをなつかしく思い出します。新しい建物に、新しい試みをいっぱい盛り込んでください。

思いがけず良い映画にめぐり会いました、このように幸せな結末を迎えられる子どもは少数なんです。この想いを、ユニセフを通じて少しでも協力したいと思います。

第8回ユニセフラブウォークinいわて

2011年岩手県ユニセフ協会設立10周年記念事業として始まったユニセフ・ラブウォークは、第8回目を迎えました。

5月20日(日)、快晴の下、盛岡城跡公園広場をスタート・ゴールに、5キロ・10キロのコースに分かれ、健康づくりと途上国の子どもたちのためにウォークしました。

昨年に引き続き出発式の進行を務めた盛岡大学3年佐藤真子さんは、1年の時から参加し、「今日はがんばります!」と元気に挨拶。順延となった運動会でキャンセルとなった方もありましたが、県内各地からの参加者は160名を超えユニセフ・ラブウォークを楽しみました。

今年の学生参加は40名、学校でのユニセフ活動の広がりを感じます。「友達同士楽しかった」「気候も最高、来年も参加します」など、午前中に終了し完歩賞を手に三々五々解散。参加費はユニセフ募金として66,190円を日本ユニセフラブ・ウォーク協議会に送金し、途上国の子どもたちのもとに届けられます。



▲進行役の盛岡大学佐藤真子さん



▲県ユニセフ協会専務理事 内澤祥子さん挨拶



▲大学生のみなさんの元気なエールでスタート



▲清流中津川・北上川べりをウォーク





▲岩手県立不来方高校音楽部



▲コーラス四つ葉

「岩手日日新聞 2018年7月24日付」



岩手県ユニセフ協会花巻友の会 30年記念チャリティーコンサート ～宮沢賢治の精神を願いとして30年～

1989年に設立した(財)日本ユニセフ協会花巻友の会は、2001年設立した(財)日本ユニセフ協会岩手県支部(現岩手県ユニセフ協会)に統合し活動をすすめています。

2018年7月22日(日) ながんプラザCOMZホールで、ユニセフ活動の輪をさらにひろげ『宮沢賢治の精神を願いとして』30年記念コンサートを開催しました。

花巻市長上田東一市長のご挨拶、林正文会長から南城中学校、花巻北中学校、ゆかわ脳外科スポーツクラブ、立正校成会花巻教会、真宗大谷派妙圓寺仏教婦人会に感謝状が贈られました。

全日本合唱コンクールの文部科学大臣賞(最高賞)を3年連続で受賞した県立不来方高校音楽部は、文部科学大臣賞受賞7回目、同賞選出条件の金賞受賞は10年連続18回目と輝かしい実績を誇る音楽部のコーラスとコーラス四つ葉の合唱、春日流鍋倉獅子踊りは400名の観客を魅了しました。会場でご協力いただいたユニセフ募金 92,178円。



▲花巻友の会実行委員会のみなさま



不来方高校音楽部のみなさん

♪花巻は、私の地元で、花巻で歌えることがとてもうれしかったです。リハーサルでは、合同合唱で一緒に歌った「コーラス四つ葉」[花巻北中学校]の皆さんと交流することもできました。いよいよコンサートが始まり、宮沢賢治の「星めぐりの歌」からスタートしました。沖縄の民謡の「狩俣ぬくいちゃ」と岩手の伝統芸能の「さんざ踊唄」ではたくさんの拍手をいただくことができました。手拍子やかけ声をたくさんの方がやってくださりうれしかったです。(3年ソプラノ)

♪今回のステージでは、様々な曲を演奏させていただきました。最後に会場の皆さんと歌った「星めぐりの歌」と「ふるさと」は元気にニコニコしながらも歌って下さって、私も元気ができました。これからも岩手の方々々に希望の歌声をお届けできるように頑張ります。(2年アルト)

♪私は、「浪漫飛行」と「君といつまでも」、「大地讃頌」をしました。今回の演奏でユニセフ花巻友の会を初めて知りました。世界の困っている人のために活動していて、とても素晴らしいと改めて思いました。私たちが世界の人の心をつなげたいと思いいつ日活動しています。今回の演奏でユニセフに少しでも協力ができたらうれしいです。(1年伴奏隊)

不来方高校音楽部の合唱を初めて聴きました。思わず鳥肌が立ちました。本当にすばしかったです。歌も音楽も全員が楽しんでるのが伝わり、元気をもらえました。(50代)

不来方高校の歌唱力、全国一は納得しました。すばらしい歌声をパフォーマンスにとっても感動しました。

すばしかったです。日本一の宝石のように美しかったです。若い人たちのコーラス最高。最後に四つ葉のみなさまとの合同のコーラスも深みがあってとても素敵でした。(60代)

開会式から人間味のある司会が良かったと思いました。チャリティーコンサートらしい雰囲気があり、和と洋のバランスがとれていました。世界の子供もたちが幸せで、自分の夢を実現できるように少しでも募金活動が続けられることを祈っています。(50代)

来場者の感想から

2017年度 いわて生協ユニセフ募金贈呈



大谷直子理事から三浦会長に目録贈呈
2018.4.16

外国コインを募金

海外旅行のために両替すると、どうしてもコインが余りがち。そのまま忘れてしまうこともあります。そんな外国コインを募金してユニセフの活動資金にしてもらうという方法があります。主要空港なら税関検査場に募金箱が設置されているので、帰国したらそのまま募金し楽しかった旅行がいい気分が締めくくれそう。花巻空港には設置されていませんが、岩手県ユニセフ協会でも受付しています。



©日本ユニセフ協会

今後の活動

- 10月14日(日) いわて生協第24回「福祉まつりin盛岡」出展
会場:盛岡市大通商店街「歩行者天国」11:30~15:00
- 11月1日(木) 花巻友の会チャリティーバザー 会場: 妙圓寺
- 11月6(火)~13日(火) N活フェア出展 会場: アイーナ6F
- 11月16(金)~22日(木) ユニセフ写真展 長谷部誠大使「ワクチンの旅」
会場: 岩手教育会館 1Fふれあいギャラリー
- 12月2日(日) ハンド・イン・ハンド街頭募金活動 会場: 盛岡市
- 12月8日(土) ハンド・イン・ハンド街頭募金活動 会場: 花巻市
- 12月22日(土) 大槌キッズコーラスあぐどまめコンサートと大槌めぐり

バザー出品にご協力を!

参加者募集

ユニセフ写真展

長谷部誠大使がたどる
「ワクチンの旅」



ユニセフを通じて「はしか」を防ぐためのワクチンを支援してきた長谷部誠選手は、日本ユニセフ協会大使就任後初の支援現場、エチオピアを訪問しました。ユニセフの予防接種事業の現場に赴き、支援がどのように子どもたちの元に届けられるか、自身の目で確かめるためです。

©日本ユニセフ協会/2017

▲予防接種に集まったお母さんたちから話を聞く長谷部選手。

2018ユニセフ
ハンド・イン・ハンド
街頭募金活動
ボランティア募集!!



40回目を迎える今年のハンド・イン・ハンドは、世界の子どもの命と健やかな成長を守るため、「すべての子どもに5歳の誕生日を」をテーマに掲げ、12月2日盛岡市内・12月8日花巻市内で街頭募金活動を行います。

岩手県ユニセフ協会では、ユニセフハンド・イン・ハンド募金にご協力くださるボランティアのみなさまを募集しています。活動方法はみなさまのアイデア次第!街頭で、みなさまが主体となってユニセフ募金を呼びかけましょう!

日時 2018年 11月16日(金)~22日(木) 10:00~17:00

会場 岩手教育会館 1F ふれあいギャラリー **入場無料**

※ユニセフ支援グッズを展示いたします

ユニセフ講座のご案内

ユニセフ (UNICEF: 国際連合児童基金) は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを優先に、190の国と地域で活動しています。ユニセフの活動の指針は、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」の精神に基づいています。

世界の子どもの状況やユニセフの活動、子どもの権利条約と、持続可能な開発目標SDGsについて、楽しく学べるユニセフ講座のご案内です。お気軽にご参加ください。

日時 2018年 9月29日(土)
10:30~12:30

定員 30名

会場 アイーナ(いわて県民情報交流センター)
6F 団体活動室4

内容 ☆東ティモールの子どもたち
ユニセフスタディツアー報告
遠山あゆ子さん
☆ワークショップ
子どもの権利条約とユニセフの活動
持続可能な開発目標SDGsってなあに

持続可能な開発目標



申し込み必切 2018年11月20日(火)



▲2017ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

お問い合わせ先

岩手県ユニセフ協会

TEL:019-687-4460 FAX:019-687-4491
E-mail:sn.iunicef_iwate@todock.jp

ユニセフ支援ギフト



途上国の子どもたちに、ユニセフの支援物資をプレゼントしませんか。



ユニセフ支援ギフトとは?

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントするご支援方法です。ワクチン、治療用ミルク、蚊帳などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。

支援ギフトカタログは
県ユニセフ協会まで

ユニセフ支援ギフトから経口補水塩(ORS)
(1セット=500包)4,300円

経口補水塩(ORS)は食塩とブドウ糖を混合したもので、安全な水に溶かして飲むことで水の25倍の速さで体に水分が吸収されます。激しい下痢、嘔吐、発熱からくる危険な脱水症状から子どもたちを救います。



あ・と・が・き

○「ヘアードネーション」聞いたことがありますか。ヘアードネーションとは髪の毛の寄付です。髪を失った子どもたちに寄付するという中学生の作文コンテスト「髪がなくなっちゃいり」に胸をうたれた。知人が髪をショートカットにし寄付したという話を聞いた。みじかなところにもあたたかい思いやり。

○7~8月は感動の毎日だった。不来方高校音楽部コーラス、LION/ライオン映画上映、幼子のいのちを救ったスーパーボランティア、金足農業高校野球部、アジア大会...

お寺さんでみたことを思い出した。人は苦しんでやさしくなり、やさしくなって感動し、感動して成長する。

(事務局)